

カシオペア産業支援センターがオープン！ —いわて産業振興センターのサテライト機能も担う—

7月26日に二戸地方振興局に設置された「カシオペア産業支援センター」の開所にともない、関係者が見守る中、二戸地方振興局長田山清氏と(財)いわて産業振興センター専務理事長葭常紀による除幕式が行われました。

このセンターは、「(財)いわて産業振興センター二戸サテライト」としての機能も有し産業支援における県北(二戸・久慈)地域の活動拠点となります。職員3名からなる「県北支援チーム」が県北地域の企業を重点的に訪問して、創業・起業家支援、人材育成支援、受発注取引支援、産学官連携や研究開発、知的財産に関する支援、設備貸与や資金貸付等、企業の課題解決のための要望に沿った支援をワンストップで、これまで以上に迅速に対応することが出来るようになります。また、豊かで特徴ある地域農林水産資源を生かした食産業や伝統産業企業の支援も積極的に行います。

さらにものづくり産業については、首都圏や県南の企業に対する県北地域への企業進出を促したり起業化を支援し、ものづくり産業集積が図られるように取り組んでまいります。

除幕式後、二戸地域の企業26社、産業支援団体6団体、研究・教育機関2団体、行政5団体からなる「カシオペアものづくり産業ネットワーク」も設立されました。設立総会の後には「カシオペア

産業支援センター」及び「(財)いわて産業振興センター二戸サテライト」の開所、「カシオペアものづくり産業ネットワーク」の設立を記念して、谷村電気精機株式会社代表取締役会長谷村久興様による講演が行われました。「北上川流域ものづくり産業ネットワーク」について、異業種間のネットワーク活動によるメリットや産業人材育成の取り組みについてなどの内容と、今後は「北上川流域」「カシオペア」両ものづくりネットワーク間の連携を促進していこうとお話があり、これから「カシオペアものづくり産業ネットワーク」の活動において有意義なものでした。

「(財)いわて産業振興センター二戸サテライト」(TEL0195-23-9201 FAX0195-25-4062)は二戸地区合同庁舎4階の「カシオペア産業支援センター内」になります。



北上川流域ものづくり魅力発信フェスタ・盛況裡に終了

去る7月6日(金)、7日(土)に北上総合運動公園内総合体育館を会場として「北上川流域ものづくり魅力発信フェスタ」を、3年に1度開催される「北上工業匠祭」との併催で開催いたしました。

好天に恵まれたこともあり、会期2日間での来場者は延べ13,000人を数え、大盛況のうちに終了することができました。

北上川流域魅力発信フェスタは「企業展示」と「企業PRプレゼン「ものづくり魅力発信発表会」」を主軸とし、県内の高校生を中心とした若者が、身近なものづくり企業の魅力を感じ、「地元岩手県に就職したい」という意力を高める目的で開催しました。

企業展示は56企業、8団体が出展し高校生を中心とした若年者及び地域の方々に企業の魅力をPRしました。6日(金)は高校生の活気に満ち熱心に展示を見学する姿が見受けられ、7(土)はお子様連れのファミリー層を中心に大変な賑わいを見せました。

来場者からは「岩手県の県南にこんなに会社があるとは思わなかった。製造業に就きたいと思っているが、たくさんの情報を得ることが出来た。(見学・高校生)」「こどもがUターン就職を考えている。Uターン先候補としてどんな企業があるか見に来た(見学・一般)」「高校生等、若い人が来ると活気がある。出展する側も熱が入る。(出展企業)」といった意見や感想をいただいております。

“企業PRプレゼン「ものづくり魅力発信発表会」”では県内の中

堅企業16社の若手社員が、企業の若手人材が若者の目線で、同年代である若者求職者に対し、自社の魅力を発信しました。

参加した県南地区の約950人の高校生及びジョブカフェ利用者等大勢の若者の前でのプレゼンというプレッシャーの中、発表者の皆さんは緊張の面持ちでしたが、各社若者を引付けるオリジナリティーに富んだ内容でプレゼンテーションを行いました。

発表者の丁寧な心をこめたプレゼンテーションによって、参加している皆さんは真剣にメモをとったり、時には大爆笑したりと、心に響くものがあつたようです。今回のイベントを通じて、より多くの若者が県内のものづくり企業に興味を持ち、就職先の候補として考えていただけることを期待いたします。

